

高校地理プリント (過去問類似)

資源と産業 No.4

名前

得点

/10

問1 日本の工業立地において、製品の鮮度保持や輸送コストの観点から、原料産地や大消費地に近い全国の都道府県に広く分散して立地する傾向が最も強い産業部門は何か。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 繊維工業 2. 非鉄金属製造業 3. 食品製造業 4. 金属製品製造業

問2 観光地における訪問者の交通手段と入込客数の維持との関連性を調査する際、単に現地で訪問者の人数をカウントするだけでは、利用された交通機関の実態を把握することはできない。来園者に対して、利用した交通機関（自家用車、公共交通機関など）を直接尋ねて回答を得ることで、交通手段の実態を明らかにするために最も適した調査手法を何というか。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. フィールド調査 2. インタビュー調査 3. ヒアリング調査 4. アンケート調査

問3 日本の輸入相手国の推移をみると、1970年代の石油危機の時期には、原油価格の急騰に伴って、日本への原油の主要な供給源である中東の特定の国々からの輸入額が急増し、輸入相手国の上位を占めるようになった。この時期にイランなどとともに入額上位となった、アラビア半島に位置する世界有数の産油国はどこか。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. イスラエル 2. サウジアラビア 3. パレスチナ 4. アフガニスタン

問4 豊富な労働力と低賃金を背景に、衣類などの繊維・衣類産業が急速に発展し、工業出荷額や輸出総額において繊維・衣類製品が極めて高い割合を占めるアジアの国として最も適当なものを、次のうちから一つ選べ。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. ウズベキスタン 2. インドネシア 3. アフガニスタン 4. バングラデシュ

問5 18世紀後半のイギリスにおいて、産業革命に伴う石炭などの重量貨物の大量輸送を担うために急速に整備され、起伏のある地形を克服するために高架の水路橋を架けるなどの高度な土木技術が用いられた交通機関は何か。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 道路 2. 馬車 3. 運河 4. 鉄道

問6 ドイツ南西部に位置し、旧市街地への自動車の乗り入れを厳しく制限するとともに、郊外に駐車場を整備して路面電車への乗り換えを促すなど、先進的な環境・交通政策を導入していることで世界的に知られる都市はどこか。 (2010年 全国公立入試 類似)

1. スtockホルム 2. ストラスブール 3. コペンハーゲン 4. フライブルク

問7 1970年代末から中国で推進され、沿岸部への経済特区の設置や外国企業の誘致、輸出指向型工業への転換などを通じて、従来の計画経済から市場経済の導入へと舵を切り、劇的な経済成長をもたらした一連の政策を何というか。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 経済特区 2. 改革開放 3. 一帯一路 4. 共同富裕

問8 日本、ドイツ、イタリア、中国、韓国などの高度な技術力を持つ製造業国で生産額の上位を占め、他の機械を製造するための「マザーマシン」とも呼ばれる金属加工用の工業製品は何か。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 建設機械 2. 精密機械 3. 繊維機械 4. 工作機械

問9 南アメリカの高地では、標高が高くなるにつれて気温が低下する気候特性を利用した垂直的な土地利用が行われている。トウモロコシの栽培限界を超える標高約2500メートルから4400メートルの寒冷な地域において、古くから主食として栽培され、凍結と乾燥を繰り返して「チューニョ」と呼ばれる保存食にも加工されてきた、この地域原産の作物は何か。 (2019年 全国公立入試 類似)

1. サツマイモ 2. キャッサバ 3. ジャガイモ 4. トウガラシ

問10 かつては北米や北欧の針葉樹林帯が主要な生産地域であったが、近年は温暖な気候を活かして成長の早いユーカリなどの広葉樹を大規模に植林・利用できるブラジルやインドネシアなどの新興国へと生産拠点が移行している工業原料は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 燃料用チップ 2. 製紙用チップ 3. 製紙用パルプ 4. 建築用ボード

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 3 食料品製造業	原料の腐敗を防ぐ必要性や、製品の鮮度を維持したまま消費者に届けるという特性から、原料産地（農業・水産業が盛んな地域）や大消費地（人口密集地）の双方に近接して立地する。そのため、特定の地域に集中せず、全国各地に広く分散して立地する特徴を持つ。
問2	答え 4 アンケート調査	観光地における訪問者の交通手段と入込客数の維持との関連性を調査する場合、単に現地で訪問者の人数を数えるだけでは交通手段の実態を把握できない。来園者に対して利用した交通機関（自家用車、公共交通機関など）を尋ねるアンケート調査などを実施することが適切な調査手法である。これにより、訪問者の移動手段の割合やアクセス方法の課題を定量的に把握することが可能となる。
問3	答え 2 サウジアラビア	1970年代のオイルショック（石油危機）の時期には、原油価格の急騰により、日本にとって主要な原油輸入先である中東諸国からの輸入額が一時的に急増した。特にこの国やイランが輸入相手国の上位に位置していた。その後、2000年代には中国が輸入相手国の首位となるなど、日本の貿易構造は変化している。
問4	答え 4 バングラデシュ	豊富な労働力と低賃金をいかした繊維・衣類産業が工業の中心となっており、輸出に占める衣類品の割合が非常に高い。近年、世界の主要なアパレル企業の生産拠点として急速に成長している。
問5	答え 3 運河	産業革命期のイギリスでは、石炭や原材料を安価かつ大量に輸送するため、運河網が急速に整備された。起伏のある地形を克服するため、閘門（こうもん）の設置や、谷をまたぐ水路橋（ポントカサステ水路橋など）の建設といった高度な技術が導入された。
問6	答え 4 フライブルク	ドイツ南西部の黒い森（シュヴァルツヴァルト）の西側に位置する都市である。1970年代から環境対策に力を入れており、旧市街地を歩行者専用空間（歩行者天国）化し、一般駐車場の設置を抑制する一方で、公共交通網の整備やパークアンドライドの推進など、持続可能な都市開発のモデルケースとして知られている。
問7	答え 2 改革開放	毛沢東の死後、鄧小平らの指導のもとで開始された政策である。それまでの閉鎖的な計画経済体制を改め、対外的な市場開放と国内の経済改革を同時に進めることで、中国は急速な工業化と高水準の経済成長を達成した。
問8	答え 4 工作機械	工作機械は、金属などの素材を削る・穴を開けるなどして、他の機械や部品を製造するための機械であり、「マザーマシン（機械をつくる機械）」と呼ばれる。高度な技術力を要するため、日本やドイツ、イタリアなどの先進工業国や、急速に工業発展を遂げた中国、韓国などが生産額の上位を占める。
問9	答え 3 ジャガイモ	アンデス高地では標高に応じた垂直的な土地利用が行われており、耐寒性の高いジャガイモはトウモロコシよりも高い標高約2500メートルから4400メートルの高地で栽培される。これ以上の高地になると耕作が困難になり、アルパカやリヤマなどの放牧地として利用される。
問10	答え 3 製紙用パルプ	かつては冷帯の針葉樹を原料として、北米や北欧で盛んに生産されていた。しかし、近年は熱帯や亜熱帯の温暖な気候を利用し、成長周期が短いユーカリやアカシアなどの広葉樹を大規模に植林・伐採する体制が整ったため、ブラジルやインドネシアなどの新興国での生産が急増している。